

名古屋城を “日本1の城” “として、観光の拠点とする構想の根拠

現鉄筋の名古屋城でも日本有数の名城で、十分鑑賞に堪えて、来城する人は多いのですが、リピーターは少ない。この城の耐震工事は必要ですが、多額の費用をかけて今、木造にするより、現状のままでリピーターを増やせ“日本1の名城”とする構想が 「名古屋城 日本の天守閣 博物館」とすることだと考えます。

日本中に さまざまな博物館が 多くても 天守閣を一堂に会して展示しているものは ありません。世界に唯一の 博物館となります。

現在の名古屋城天守閣の 内部を改造して、全階層に、日本中の 有名な多くの天守閣を 精密に1/25 の木造ミニ天守閣を 宮大工に作ってもらって展示することです。最初は、現存する木造の天守閣10城 くらい作成展示し、年毎に3から4城、各地域の役所と研究者を相談役として名古屋に招いて設計施工するようにすると、その地元での宣伝にもなり、その地区の人々が自分たちの町の天守閣が 他の天守閣とどのくらいのものか比較して見学できるので、来名してくれること必至です。

また 江戸城 や 安土城などの 現在再建されていない天守閣も 地元の役所と共同作業で、史実に忠実に本物のミニ再建出来れば 名古屋城 大阪城 姫路城や その他の多くの天守閣などとの 大きさの比較や 微細な違いが 一目瞭然となります。

展示面積に制約もありますが、10年以上かけて 各県の50城 以上になり、展示できれば、素晴らしいし その間 常に各地に宣伝しながら拡充できるので、来客を確実に増やせると思われます。毎年徐々に増やすことにすれば、いちいち名古屋城の天守閣をリニューアルするより効果的です。(ディズニーランドやユニバーサルスタジオのように、数年ごとにリニューアルして来園者数の増加のための努力することも リピーターを増やすことを考慮している努力なのですが、それが自然にできるのです。) さらに 現天守閣は エレベーターで昇れるので 高齢者も子供も スカートの女性も 安全に 見学できるし、歴史に興味を持つ人(歴女や高齢化するベビーブーマーも)の増加や リピーターの増加が期待できます。名古屋市への 集客の 大きな目玉になると思われます。

本物の 精密な縮小建築には やはり 本物の宮大工の 技術を必要とすると思われますが そのための技術者や、各地域の役所職員や研究者への出費 は 将来の観光立市の観点から考慮しても、来客増による収益増加から見ても 一時の全面木造化の多額の出費でなく 年毎の出費なので 有効な出費と考えられます。

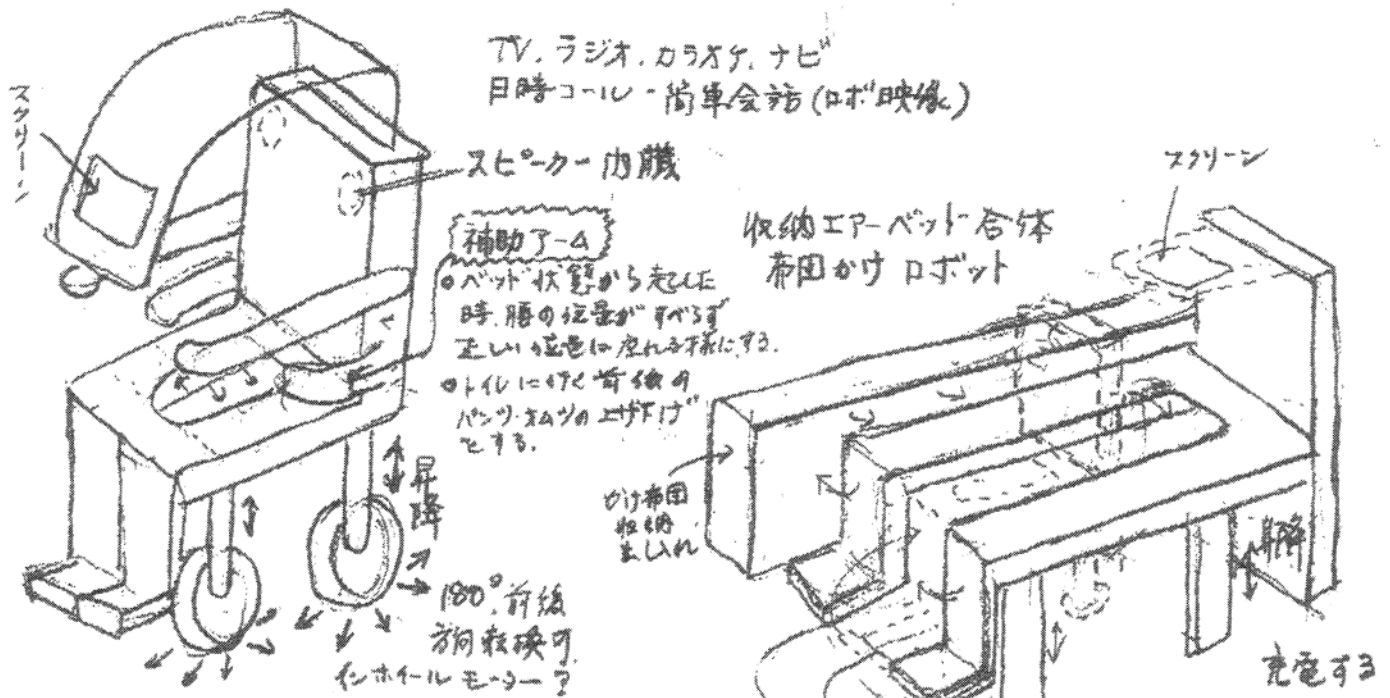
また 将来の観光立市の観点から 博物館めぐり を「名古屋城 日本の天守閣 博物館」を起点に、船で本丸下の船着き場から 堀川を通過して 港へ案内し 新幹線の展示場 と 計画中の レゴランドのミニチュアパーク を回った後、あおなみ線の 蒸気機関車で 名古屋駅へ。そこから地下鉄 と リニモで トヨタの自動車博物館へ、さらには 名古屋空港に 航空宇宙博物館(愛知は日本の航空機やロケットの製造の中心)を作って ヘリコプターか セスナで 空から名古屋の散歩しつつ案内する 水、陸(蒸気機関車 リニモ)、空 を使った一大 博物館めぐりを出来るように考えてみてはいかがでしょうか。 その構想の始発点としての「名古屋城 日本の天守閣 博物館」を提案したいと思います。

院長の夢 <究極の在宅 自主支援合体ロボット>

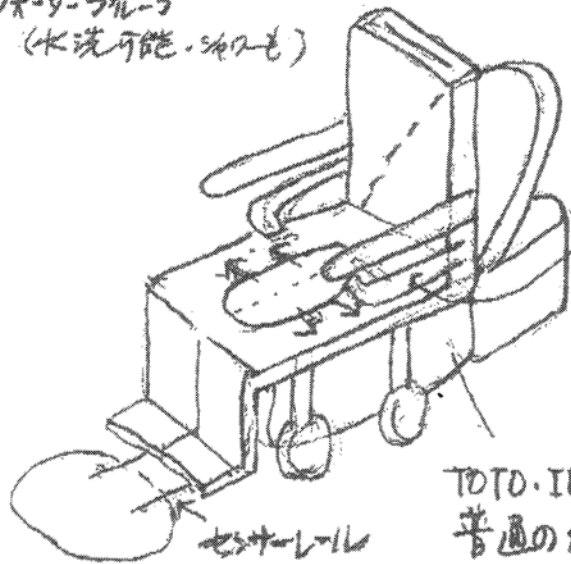
トイレ、外出可能 電動車椅子・エアベット 合体 自主支援ロボット

2015 (H27) 9月

セルフコントロール (本人) / ラジオコントロール (介護者)



エアマット (温度調節可能)
ウォーターフルーフ
(水洗可能・防水)



ここから自動でバックして
便器の上にかぶせると
開口部が左右に開き、排泄できる。

お尻の位置を
便器に合った
位置で保持

TOTO・INAX等
普通の便器

自主
立ち上り支援
(介護者と)



このアームで 痛まし
いお尻を復元して
少し腰を上げてパツオムツ
を下げる。排泄・洗剤後
便器から移動 (このパツオムツを上げる)

介護者が
取付け

自主
歩行支援ロボット
(介護者と)

